

## 平成30年9月定例会 提出議案の名称と概要

### ●平成29年度決算関係

- 議案第 88号 平成29年度北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 89号 平成29年度北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 90号 平成29年度北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 91号 平成29年度北栄町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 92号 平成29年度北栄町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 93号 平成29年度北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 94号 平成29年度北栄町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 95号 平成29年度北栄町栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 96号 平成29年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 97号 平成29年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 98号 平成29年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第 99号 平成29年度北栄町水道事業会計決算の認定について  
議案第100号 平成29年度北栄町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
報告第 9号 平成29年度決算に基づく健全化判断比率について  
報告第 10号 平成29年度決算に基づく資金不足比率について

※ 議案第88号～第100号及び報告第9号、第10号は「資料1」による。

### ●平成30年度予算関係

- 議案第101号 平成30年度北栄町一般会計補正予算（第5号）  
議案第102号 平成30年度北栄町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）  
議案第103号 平成30年度北栄町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）  
議案第104号 平成30年度北栄町下水道事業特別会計補正予算（第4号）  
議案第105号 平成30年度北栄町風力発電事業特別会計補正予算（第2号）  
議案第106号 平成30年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）  
議案第107号 平成30年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）  
議案第108号 平成30年度北栄町水道事業会計補正予算（第2号）

※ 議案第101号～第108号は「資料2」による。

●その他関係

議案第109号 財産の取得について

- 取得財産： I G B T（風力発電の電力制御機器） 3台
- 取得金額： 15, 228, 000円
- 取得業者：株式会社 明電舎 関西支社
- 取得方法：随意契約

議案第110号 工事請負変更契約の締結について（大栄中学校冷暖房設備設置工事（機械設備工事））

- 契約金額（変更前） 52, 056, 000円  
（変更後） 51, 732, 000円（324, 000円減額）
- 主な変更 アスベスト未含有による処理費の減額及び既設貫通口使用可能によるはつり工事費の減額

●諮問関係

諮問第2号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて

- 任期満了の日：平成30年12月31日
- 意見を求める者（任期 平成31年1月1日～平成33年12月31日（3年間））  
住 所 鳥取県東伯郡北栄町  
氏 名 あぜたとしこ  
畔田敏子（再任）

## 平成 29 年度 決算 の 概要

## 1 一般会計

(決算額)

歳入総額	101 億 4,652 万 3,175 円
歳出総額	96 億 3,278 万 8,813 円
歳入歳出差引額	5 億 1,373 万 4,362 円

(歳入・歳出の主なもの)

(歳入)		(歳出)	
地方交付税	37 億 7,060 万円	民生費	24 億 9,762 万円
町税	14 億 1,090 万円	総務費	16 億 4,712 万円
町債	5 億 2,571 万円	土木費	16 億 3,198 万円
国庫支出金	12 億 975 万円	公債費	9 億 7,906 万円
県支出金	10 億 2,822 万円	教育費	7 億 7,815 万円
繰越金	6 億 8,820 万円	農林水産業費	7 億 526 万円

\*単位未満切捨て

(健全化判断比率)

実質赤字比率	— %	(普通会計による比率。7.93%の黒字)
連結実質赤字比率	— %	(全会計による比率。13.25%の黒字)
実質公債費比率	13.0 %	(H27～H29の3年平均)
将来負担比率	96.2 %	

(企業会計の資金不足比率)

北栄町水道事業特別会計	— %
北栄町下水道事業特別会計	— %
北栄町農業集落排水事業特別会計	— %
北栄町合併処理浄化槽事業特別会計	— %
北栄町風力発電事業特別会計	— %
北栄町大栄歴史文化学習館特別会計	— %

## 2 国民健康保険事業特別会計

歳入総額	21 億 9,863 万 9,951 円
歳出総額	21 億 6,457 万 1,880 円
歳入歳出差引額	3,406 万 8,071 円

## 3 介護保険事業特別会計

歳入総額	16 億 4,279 万 6,850 円
歳出総額	15 億 8,919 万 8,853 円
歳入歳出差引額	5,359 万 7,997 円

## 4 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入総額	302 万 712 円
歳出総額	3,599 万 5,730 円
歳入歳出差引額	△ 3,297 万 5,018 円

5	下水道事業特別会計				
	歳入総額	13億	3,433万	1,314円	
	歳出総額	13億	6,650万	9,878円	
	歳入歳出差引額		△ 3,217万	8,564円	
6	農業集落排水事業特別会計				
	歳入総額		1,537万	242円	
	歳出総額		1,537万	242円	
	歳入歳出差引額			0円	
7	風力発電事業特別会計				
	歳入総額	6億	8,555万	4,049円	
	歳出総額	6億	4,189万	3,548円	
	歳入歳出差引額		4,366万	501円	
8	栄財産区特別会計				
	歳入総額		76万	5,606円	
	歳出総額		54万	7,087円	
	歳入歳出差引額		21万	8,519円	
9	合併処理浄化槽事業特別会計				
	歳入総額		688万	4,782円	
	歳出総額		653万	4,782円	
	歳入歳出差引額		35万	円	
10	大栄歴史文化学習館特別会計				
	歳入総額	1億	736万	932円	
	歳出総額		9,217万	7,560円	
	歳入歳出差引額		1,518万	3,372円	
11	後期高齢者医療事業特別会計				
	歳入総額	1億	5,320万	9,270円	
	歳出総額	1億	5,302万	9,404円	
	歳入歳出差引額		17万	9,866円	
12	水道事業会計				
	(収益的収支)				
	収入合計	2億	7,755万	2,887円	
	支出合計	2億	2,220万	5,828円	
	差引		5,534万	7,059円	
	(資本的収支)				
	収入合計		7,188万	7,168円	
	支出合計	2億	831万	1,331円	
	差引	△ 1億	3,642万	4,163円	

## 1. 健全化判断比率の状況

(単位:%)

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (前年度)	将来負担比率 (前年度)	資金不足比率(下水道 事業特別会計) (前年度)
北栄町	該当なし	該当なし	13.0 (12.9)	96.2 (87.9)	該当なし (該当なし)

(単位:%)

早期健全化基準	14.70	19.70	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

## ◎用語の説明

5

- 実質赤字比率…普通会計(一般会計+住新特会)の実質赤字額を標準財政規模と比較することにより、その赤字の深刻度を把握するもの。
- 連結実質赤字比率…全ての会計の赤字・黒字要素を合算し、北栄町全体としてみた収支における資金不足の深刻度を把握するもの。
- 実質公債費比率…公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより、財政の硬直化を示すもの。
- 将来負担比率…地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を把握するもの。
- 早期健全化基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政健全化計画を定め自主的な改善努力により健全化を計ります。
- 財政再生基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政再生計画を定め国の関与により再生を計ります。
- 標準財政規模…地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示します。「標準税収入額等」+「普通交付税」+「臨時財政対策債」

## 2. 要因と今後の見通し

### 実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより財政の硬化化を示します。これらの経費は削減したり、先送りすることの出来ない最も義務的な経費なので、この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し赤字団体になる可能性が高まります。

- 増加の要因  
・一般会計公債費、公債費に準ずる債務負担行為に係る支出の減少により、単年度では前年度比約1.9%減少したが、3カ年平均で見ると増加した。
- 今後の見通し  
平成22年度をピークに元利償還金は減少していることから、実質公債費比率も減少傾向ですが、比率増減の要因となる普通交付税や下水道事業債への繰出などが見込みどおりに推移するかについては十分注意が必要です。また、新たな借金をなるべく抑えるなど引き続き改善の取り組みを進めます。

### 将来負担比率

地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を示します。この比率が高い場合は、一般財源の規模に比べて将来負担額が大きということになり、今後実質公債費比率が増大することによって、財政運営上問題が生じる可能性が高くなります。

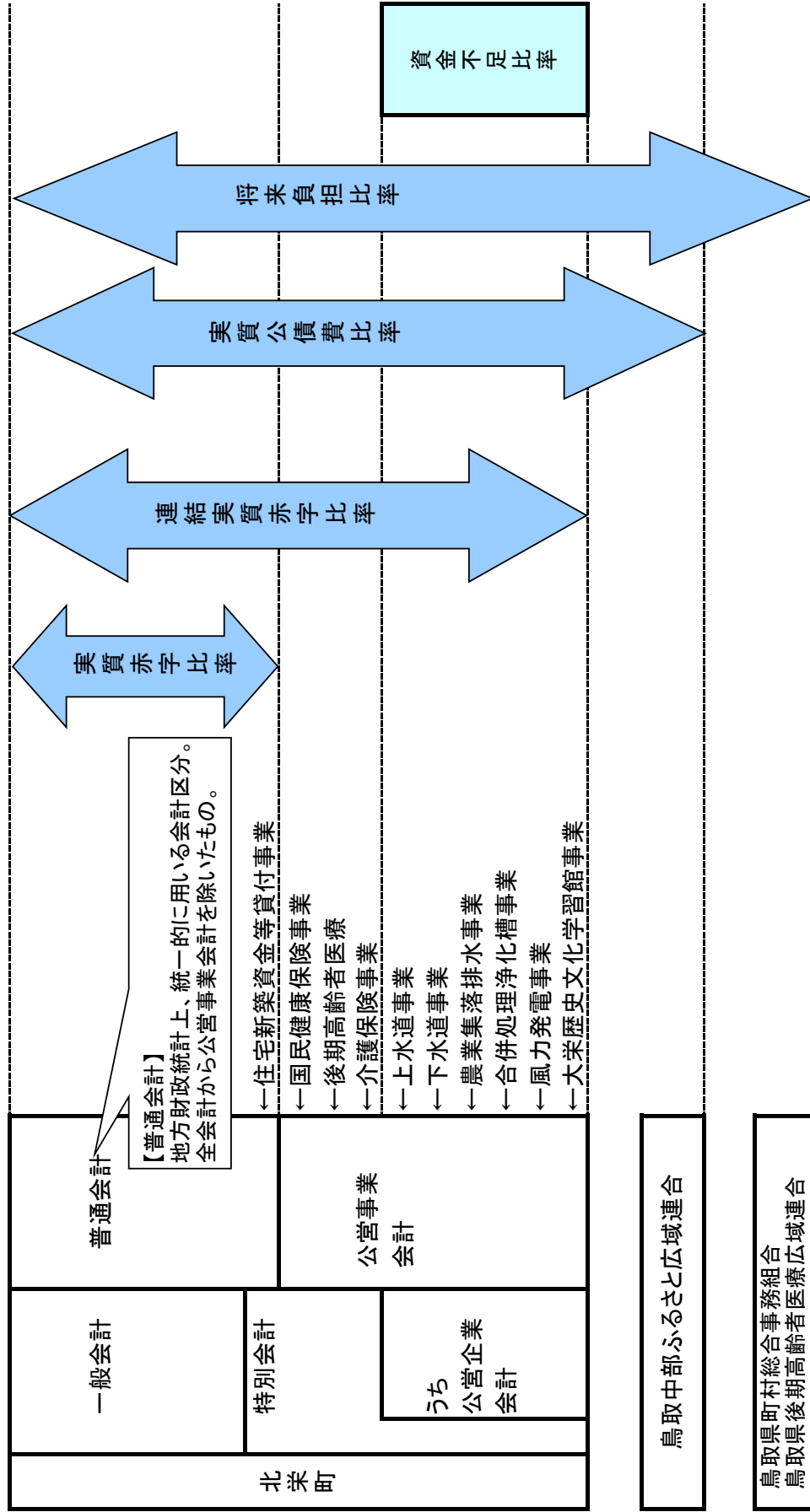
- 増加の要因  
・過去の起債の普通交付税基準財政需要額算入割合の減少や、公営住宅建設事業債など交付税算入のない起債により、充当可能財源が減少した。
- 今後の見通し  
将来負担の主な要素である一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高が今後減少していく予定ですので、それに伴い将来負担比率も減少していく見込みです。

### 資金不足比率

一般会計等の実質赤字にあたるものであり、公営企業における資金不足の状況を示します。この比率が高くなるほど事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、経営状況に問題があることとなります。資金不足のうち、将来の料金収入等で解消することが予定されている部分は、資金不足額から差し引いて計算されます。

- 北栄町の状況  
それぞれの公営企業会計において、資金不足はありませんでした。

◎健全化判断比率の対象について



## 平成 30 年 9 月定例議会補正予算（案）概要

## ■ 9 月定例議会提出補正予算

## 1 一般会計補正予算（第5号）

現計予算額9,068,838千円      補正額211,504千円      補正後の額9,280,342千円

## （主な歳入）

普通交付税	32,720 千円
国庫支出金	△ 7,571 千円
財産売払収入	5,083 千円
財政調整基金繰入金	△ 333,746 千円
前年度繰越金	459,170 千円
町債	32,300 千円

## （主な歳出）

一般管理事業	2,543 千円
財政調整基金積立金事業	114,172 千円
町有財産管理事業	6,779 千円
光ファイバーネットワーク施設管理事業	4,612 千円
外出支援サービス事業	3,664 千円
児童扶養手当給付事業	3,163 千円
木質バイオマス導入計画策定事業	13,731 千円
緊急防除支援事業	2,120 千円
観光振興事業	15,641 千円
由良宿団地建替事業	17,065 千円
下水道特別会計繰出金事業	2,523 千円

## （財政調整基金の状況）

当初予算時残高	1,210,382 千円
4号補正後残高	1,117,257 千円
5号取崩額（△）	△ 333,746 千円
5号積立額	114,172 千円
現在高	1,565,175 千円



**2 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）**

現計予算額 1,920,929千円 補正額 34,337千円 補正後の額 1,955,266千円  
（補正の内容） 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増等

**3 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）**

現計予算額 1,579,646千円 補正額 55,076千円 補正後の額 1,634,722千円  
（補正の内容） 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増等

**4 下水道事業特別会計補正予算（第4号）**

現計予算額 1,419,136千円 補正額 2,523千円 補正後の額 1,421,659千円  
（補正の内容） 人件費の増・マンホールポンプ場ポンプ整備委託料の増

**5 風力発電事業特別会計補正予算（第2号）**

現計予算額 473,719千円 補正額 33,659千円 補正後の額 507,378千円  
（補正の内容） 繰越金の計上、修繕費の増等

**6 大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）**

現計予算額 81,509千円 補正額 10,398千円 補正後の額 91,907千円  
（補正の内容） 繰越金の計上、基金積立金の増等

**7 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）**

現計予算額 160,230千円 補正額 340千円 補正後の額 160,570千円  
（補正の内容） 繰越金の計上、健診委託料の増等

**8 水道事業会計補正予算（第2号）**

収益的支出 現計予算額 241,462千円 補正額 376千円 補正後の額 241,838千円  
（補正の内容） 人件費の増  
資本的支出 現計予算額 225,398千円 補正額 239千円 補正後の額 225,637千円  
（補正の内容） 人件費の増